

放課後等デイサービス自己評価表【事業者向け】2022年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			
	②	職員の配置数は適切であるか	8			支援員の増員希望。 支援員は利用者に応じて手厚くするようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8			建物が元福祉施設の居室であったのでバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8			全員が話し合いできる環境を準備している。（月1回） 個別支援会議を中心に話し合いを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			保護者等の意向を把握し業務改善をし、メニューを考えている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3		共有ができていないか第三者委員に見学に来てもらい意見をいただく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			月1回職員の全体研修を行っている。その感想・意見を提出し、次の研修で振り返りを行い、理解を深めている。
適切	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			S-M社会生活能力検査を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			S-M社会生活能力検査を利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			職員で担当を決め、プログラムを計画・実行している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			チェックシートを活用して同じ内容にならないように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			

放課後等デイサービス自己評価表【事業者向け】2022年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
主な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8			
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			朝・夕の情報共有と月一回全体研修・報告会・課題に対する勉強を行っている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			送迎の便数等も増えており、連絡調整の見落としが発生する可能性があるため、より慎重に確認する必要がある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2		6	現在は医療的ケア児が必要な子どもがいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8			必要な子どもたちには事前に行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8			いーちステップに移行する場合など、必要に応じて情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			各種研修を受講している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	6	コロナ禍で実施できていない。

放課後等デイサービス自己評価表【事業者向け】2022年

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
の 連 携	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8			オンラインで研修等を行っている。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時や電話で行っている。 日々の連絡帳で行っている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8			アセスメント、モニタリング等で支援を行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			契約時やモニタリングに行っている。 口頭、メール、文書で丁寧に説明している。 変更があれば文書を送っている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			契約時やモニタリングで行っている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2		6	コロナ禍のため控えている。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			準備・対応策は出来ているがもっと細かいことを決めていく必要がある。 連絡帳の保護者質問については電話で対応している。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		ホームページなどで行っている。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	8			個人所有の携帯電話の写真に注意している。 朝のミーティングで頻繁に注意を促している。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			念のための確認は常に電話で行っている。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	3	コロナ禍で実施できていない。
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			保護者へは必要に応じて案内を配布している。 保護者に災害時の避難場所を詳しく伝えておく必要がある。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			月一回各種防災訓練を行っている。どの曜日の利用者に対しても訓練できるように配慮している。

放課後等デイサービス自己評価表【事業者向け】2022年

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			書面でお知らせしたり直接お話ししたりしてサインをいただいている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			アレルギー検査をしてもらい、結果の書類のコピーを保管している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			事例を知ることができ参考になるので重要な取り組みだと思う。